



第2回 JPET
日本の PET 樹脂取引、応用
およびリサイクルについて
2016年3月16~17日 東京

シルバースポンサー



計画実行



www.cmtevents.com


第1日目 — 2016年3月16日 水曜日

会議は日本語英語同時通訳を提供します。
The conference will provide a Japanese-English simultaneous interpretation

- 08:00 受付
- 09:00 司会者あいさつ
- 09:10 セブン&アイの環境への貢献活動と PET ボトル回収システムの現状
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
総務部長：藤乗 照幸氏
- 09:40 日本における飲料PET市場と PETリサイクルについて
T-Bay インターナショナル・ビバレッジ・ビジネス・コンサルティング
代表取締役：松田 晃一氏
- 10:10 エフピコの「ボトルtoトレーリサイクル」
株式会社エフピコ
環境対策室ジェネラルマネージャー：富樫 英治氏
- 10:40 ディスカッションの後、
コーヒーブレイク

- 11:10 FENC の日本 PET 市場に対する革新的な戦略
Far Eastern New Century Corporation
(遠東新世紀株式会社)
副社長：Y J Lou 氏
- 11:40 日本における最新 PET ボトル無菌充填システム
澁谷工業株式会社 (本社)
常務取締役兼プラント技術本部長：西納 幸伸氏
- 12:10 PET・包装・飲料産業向けの冷却工場の最近の動向
Frigel Firenze 社
取締役：Marcus Sutch 氏
- 12:40 ディスカッションの後昼食
主催

- 14:00 包装業界における rPET の優位性
Starlinger 社
代表取締役


- 14:30 サントリー プレゼンテーション
サントリービジネスエキスパート株式会社
包材開発部長：岩井 宏之氏
- 15:00 アルミニウム触媒を使用した PET ボトル成功事例
岩谷産業
機能樹脂部：紅林 達也氏
- 15:30 ディスカッションの後
コーヒーブレイク
- 16:00 PET 包装—直接食品に接触する包装のリサイクル
Gneuss Kunststofftechnik GmbH 社
テクニカルセールス部長：
Axel Hannemann 博士

- 16:30 ビバレッジ用 PLA スリーブ/ラベルなどのバイオプラスチック
日本市場の現状
ITI コンサルティング事務所
主任コンサルタント：猪股 勲氏
- 17:00 最終ディスカッション。
第1日目終了

第2日目 — 2016年3月17日 木曜日

- 09:00 司会者あいさつ
- 09:10 太陽光発電システム用耐加水分解性 PET フィルム
東洋紡 中国
フィルムおよび機能性高分子部門 開発部長：
Yoshinori Kada 氏
- 09:45 PET の新しい市場用途を開く新しいブロー成形技術
Frontier Incorp.
折本 宏行氏
- 10:20 ディスカッションの後、
コーヒーブレイク
- 10:50 PET ボトルのバリアコーティング技術改善のための Cat CVD
テクノロジー
キリン株式会社 パッケージング技術研究所
シニア研究員：山崎 照之氏
- 11:20 トムラのペットボトルおよび飲料用PETボトル自動回収機
・7 & i 小売店でのケーススタディ
トムラ・ジャパン株式会社
代表取締役副社長：
山辺 直史氏



第2回 JPET
日本の PET 樹脂取引、応用
およびリサイクルについて
2016年3月16~17日 東京

シルバースポンサー



計画実行



www.cmtevents.com

11:50 価値を維持する完成
度：VACUREMA® インラインシ
ート・シリーズ
EREMA Engineering Recycling
Maschinen und Anlagen
Ges. m. b. H
応用ボトル・ビジネス開発
部長：
Ing. Christoph Woess 氏

12:00 最終ディスカッション

12:30 昼食
主催



2016年3月17日 木曜日

➡ 別途ご予約が必要です

RPET の品質向上と PET
(ボトル/トレイ/シート) 再生の新開発
(14:00~17:00)
ワークショップリーダー：
Robert Dvorak
(英語でのみ)

リサイクル技術と設備システムの
再考—工場や供給原料のインプットに
最善の設備選択

- ・ 梱の仕様、混合物および搬送されて
くる材料に対して行うべき監査
- ・ 純度の高い生産を行うための技術の
選別および事前選別、技術と近年の
イノベーションの概要
- ・ ドライクリーニングおよびウェット
クリーニングシステム、糊の除去・
ラベル・水ろ過およびトリートメン
トを含む洗浄技術の概要

- rPET 品質の改善とトラブルシュー
ティング手順—主要因と対策
- ・ 食品接触への応用を含む目標仕様に
合わせた rPET 製造の必須要項

薄片やペレットの押し出し加工と浄化
システム概要—食品用品製造における
小モジュラーから大規模加工システム
に焦点を当てる

- ・ 食品接触における条件の実験室品質
コントロール検査

変色の原因と微粒子・PVC・金属・ラベ
ル混入物の影響

- ・ rPET 異物混入の典型例とその顧客
への影響および最小限に抑える方法
- ・ 高品質の100% rPET ボトルおよびサ
ーマフォームの開発・製造
- ・ リサイクルの流れにおける PET サ
ーマフォームの影響

PET ボトルおよびサーモフォームの再
生可能デザイン・ガイドライン

- どのような材料や成分システムおよび
技術がリサイクルに適・不適であるか
- PET ボトル再生システムおよび技術
の主要ステップ概要
 - 着色剤・機能添加物・蛍光増白剤・
脱酸素剤・アセトアルデヒド防止剤
の再考
 - バリアシステムおよび技術、ラベル
システム、材料および塗料の再考
 - 伸縮スリーブの再考
 - 閉鎖物、シール材および技術の再考
 - 接着剤・糊の再考

3つのお申し込み方法

Online: www.cmtevents.com
Email: hafizah@cmtevents.com.sg
Tel: (65) 6346 9218

お一人様参加費用	(USドル)
第2回 JPET : 3月16~17日 通常お一人様参加費用	1595.00
3名以上のグループの場合	1295.00

オプション企画 rPET リサイクル会議後 ワークショップ : 3月17日	495.00
---	--------

ワークショップ付きパッケージ ➢第2回 JPET : 3月16~17日 ➢rPET リサイクル会議後 ワークショップ : 3月17日	1695.00
--	---------

個別の目的に合わせた後援のチャンス
パッケージには企業後援、参加者限定ラン
チおよびカクテルパーティー後援などが含
まれています。出展/カタログ展示もご要望
により受け付けております。
cynthia@cmtevents.com.sg までご連絡ください

ここに公表されているプログラム詳細は2016年2月22
日現在のものです。発表者や議題に関する最新の情報
は、<http://www.cmtevents.com/main.aspx?ev=160305>
でご確認ください。